

研修で
学校が
変わる

情報化推進リーダー研修 まとめ

「教育の情報化を リーダーとして推進する」



令和2年7月6日（月）

「Web会議による遠隔講義」

講師 中川 一史 氏（放送大学 教授）

【研修のねらい】

- 児童生徒の情報活用能力に向けたカリキュラム・マネジメントや校内研修の進め方について理解し、各学校における実践力を高める。

情報活用能力とは、世の中の様々な事象を情報とその結びつきとしてとらえて把握し、**情報および情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力のこと**

今の多くの学校の状況

授業内でデジタル機器を使う頻度・・・日本は最下位
(世界53か国・地域中 PISA2018調査結果)

これからの学校の当たり前の姿

- ICTを毎日ふつうに使っている学校
- オンラインを積極的に活用している学校
- 情報活用能力を計画的に育成している学校

どんどん学校差が激しくなってくる
あなたの学校は大丈夫??



【私はこの学びをこう活かす!】

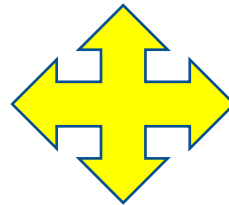
- ICT活用等、教師の苦手意識の払拭のための手立てを講じたい。具体的には各先生が実践されていることを気軽に話せる場をつくり、他の先生もしてみたり改善点を出し合ったりできるように、得意な先生をうまく生かしていきたい。
- タブレットを主体的に子どもが使ってみる授業に挑戦したい。
- タブレットを調べる学習だけでなく、プレゼンや意見の交換などの表現の場で使いたい。

情報化推進教師の資質・能力の4観点

1 理念・理論に関する知見

2 授業デザインとアチーブメント

- ① 教科・領域のねらいと情報教育のねらいをうまく融合している
- ② ICTと非ICTの選択・組み合わせが絶妙である
- ③ 形成的評価を行い、授業の改善点を明確に語れる



3 カリキュラムコーディネーション

- ① 3つの観点や教科・領域等に配慮した情報教育カリキュラムが計画できる
- ② 情報教育の段階性を意識できる
- ③ 教員や児童生徒の実態に合ったカリキュラムの評価・改善ができる

4 校内マネジメント

- ① 同僚を良い意味で巻き込むことができる（ひと）
- ② 研修、研究の機会を企画・運営・推進している（こと）
- ③ 人材、ハード、ソフト、予算等の確保・管理をしている（もの）



【私はこの学びをこう活かす!】

- 情報化推進リーダーとして、校内マネジメントの大切さを学んだ。役割分担をしながらキーパーソンを育てていきたい。また、プログラミング教育に関して前期課程の実践においてNHKの「テキシコ」等の教材を紹介していただいたので、研修に活用したい。
- 情報化推進リーダーとして、職員研修でGIGAスクール構想について知らせ、児童がICTを効果的に選択しながら学習に取り組める力を身につけさせなければならないことを伝え実践化につなげたい。授業研にICTを活用した場面を組み込んでもらうなど、普段から実践化を図りたい。
- 学習者用デジタル教科書全般について情報化推進リーダー自身が早めに理解を深め、校内をリードできるようにしたい。
- どの教科でも横断的にプログラミングの内容を取り入れ、思考力を高めさせるようにしていきたい。